

たがじょう

市議会だより



東豊中学校
生徒会執行部の皆さん

第4回定例会・第2回臨時会結果

一般質問

あんなことこんなこと議論の足跡

常任委員会行政視察

No.98

平成29年(2017年)
2月1日発行

第4回
定例会再生期復興事業の
補正予算可決

12月13日から12月20日まで、8日間の会期で第4回定例会を開催しました。今定例会では、人事1件、条例9件、補正予算案7件、その他3件等の審議を行いました。また、11月25日には第2回臨時会を開催しました。

東日本大震災復興交付金第16回申請分が採択

道路事業（清水沢多賀城線）・津波復興拠点事業・災害公営住宅家賃低廉化事業・東日本大震災特別家賃低減事業に係る交付金が採択されました。

臨時福祉給付金（経済対策分）の支給

社会全体の所得と消費の底上げを図るための低所得者に対する給付金（一人につき1万5千円）を支給する予算が追加されました。

ドクターヘリランデブーポイント環境整備事業

ランデブーポイント（臨時離着陸場）に看板を設置するための予算が追加されました。

指定管理者の指定

平成29年4月1日から平成34年3月31日まで指定しました。

シルバーヘルスプラザ、屋内ゲートボール場

↓社会福祉法人多賀城市社会福祉協議会（継続）

請願・陳情

市民のみなさんの声を直接議会に届けることができます。請願や陳情を活用してまちづくりへ参加しましょう。

今定例会では、請願が3件、陳情が5件ありました。

請願

- ◆東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成29年度継続するための財政措置を求める意見書の提出を要請する請願↓文教厚生常任委員会に付託しました
- ◆中小企業・小規模企業振興条例制定に関する請願↓総務経済常任委員会に付託しました
- ◆国民年金等の削減をやめ最低保障年金制度創設等に関する意見書提出を求める請願書↓文教厚生常任委員会に付託しました

陳情

- ◆最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書の提出について
- ◆「高額療養費制度」「後期高齢者の窓口負担」見直しの慎重審議と現行制度継続を求める意見書の採択を求める陳情書
- ◆陳情書（バス運行の改善について）
- ◆平成29年度税制改正に関する提言について
- ◆道路清掃について

第2回臨時会 市長が提出した議案

1	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
	人事院勧告に準じ、一般職の職員等の給料の額、期末勤勉手当の支給割合等を改正しました。
2	工事請負契約の締結について（平成28年度都市計画道路笠神八幡線橋りょう上部工工事）
3	財産の取得の変更について（災害公営住宅用建物）
	宮内地区災害公営住宅の取得価格について、1億8,502万5,760円減額となりました。

第4回定例会 市長が提出した議案

4	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
	人権擁護委員に佐藤修子氏（伝上山）を推薦することに同意しました。
5	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について
6	教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について
7	多賀城市水道事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
8	議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について
	(5～8) 人事院勧告に準じ、市長等の期末手当の支給割合を改正しました。
9	多賀城市税条例等の一部を改正する条例について
	「地方税法等の一部を改正する等の法律」及び「所得税法等の一部を改正する法律」の公布に伴い、市の関係する条例を改正しました。
10	多賀城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
	「所得税法等の一部を改正する法律」の公布に伴い、市の関係する条例を改正しました。
11	多賀城市公民館条例の一部を改正する条例について
	山王地区公民館及び大代地区公民館の冷暖房使用料を定めました。
12	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について
	「雇用保険法等の一部を改正する法律」の公布に伴い、関係する条例の引用規定を改正しました。
13	指定管理者の指定について（多賀城市シルバーヘルスプラザ及び多賀城市屋内ゲートボール場）
14	工事請負変更契約の締結について（平成27年度都市計画道路笠神八幡線橋りょう下部工工事）
15	平成28年度多賀城市一般会計補正予算（第4号）
	臨時福祉給付金給付事業、人事院勧告等による各事業費人件費、緊急避難路・物流路（笠神八幡線）整備事業など、一般会計で24億1,191万円を増額しました。
16	平成28年度多賀城市災害公営住宅整備事業特別会計補正予算（第1号）
17	平成28年度多賀城市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
18	平成28年度多賀城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
19	平成28年度多賀城市介護保険特別会計補正予算（第3号）
20	平成28年度多賀城市下水道事業特別会計補正予算（第3号）
21	平成28年度多賀城市水道事業会計補正予算（第3号）
22	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
	人事院勧告に基づき、国家公務員において、仕事と育児又は介護との両立を支援する休暇等の制度の拡充が行われることに準拠して、市の関係する条例を改正しました。
23	工事請負契約の締結について（平成28年度市道工場西一号線外1線排水施設整備及び多賀城防災緑地整備工事）

※各議員の賛否の一覧表は、4ページに掲載しています。

第2回臨時会・第4回定例会 表決一覧

各議員が出した結論は

案件等の番号	自由民主党							日本共産党				公明党			民	市	新	無	審議結果
	鈴木新津男	江口正夫	伏谷修一	米澤まき子	金野次男	森長一郎	吉田瑞生	中田定行	戸津川晴美	藤原益栄	佐藤恵子	阿部正幸	齋藤裕子	根本朝栄	雨森修一	昌浦泰巳	竹谷英昭	板橋恵一	
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	意見なし同意
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
22	○	○	○	○	○	○	○	○	欠(※)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

議長は公正中立の立場から表決に加わりません

臨時会・定例会結果

表示の説明 賛成は○ 反対は× 欠席は欠(※病気による欠席)

会派名 自由民主党=自由民主党多賀城市議団 日本共産党=日本共産党多賀城市議団

公明党=公明党多賀城市議団 民=民政クラブ 市=市民クラブ 新=新世紀クラブ

板橋議長は公正を期するため無会派になります。

第4回 定例会 一般質問

一般質問



市民クラブ 昌浦 泰巳

1 教育行政について
2 教育に関する大綱について

答 教育大綱は、第五次多賀城市総合計画の後期基本計画における教育分野の施策体系を踏襲した内容で取りまとめ、10月25日に最終的な決定の手続きを行い、11月9日

二問 市の教育、学術及び文化に関する総合的な施策の大綱は、現時点ではまだ策定されておりませんが、いつ頃策定される見通しでしょうか。

答 ①学校教育の充実についてはひろい心、健やかな体、豊かな人間性と創造性を備えた児童生徒の育成、「確かな学力」の定着と個性を伸ばす教育の充実を目指します。また、学校・家庭・地域の連携による協働教育の取組の充実、発展を図ります。そのほかにも、生涯学習の推進、スポーツの振興、文化財の保存と活用といった課題を念頭におき取り組んでまいります。

答 発表を急ぐあまり、配慮に欠けましたことをお詫びします。

二問 大綱を策定していて、市のホームページに公表して事足りるというの、大綱を軽んずるようであり、市議会に対して説明無しは、どういう理由でしょうか。

に市ホームページに掲載し、公表いたしました。



日本共産党 佐藤 恵子

1 被災者医療費等の窓口負担免除について
2 低所得世帯の水道料金軽減について

二問 水道料金の滞納者数の割合は、給水区全体では10.23%。その中で災害公営住宅入居者の割合は、19.33%と約2倍になっており放置できない問題となっております。生活支援策として、災害公営住宅入居者をはじめ低所得世帯へ

答 被災者の健康保持と生活不安解消のために、平成28年度国保医療費の窓口負担免除を行いました。継続のためには、国の財政支援が欠かせません。そのために、国に財政支援の拡充を要望しており、県知事にもお願いしていきたいと考えています。継続については、現在検討しています。

答 被災者の健康保持と生活不安解消のために、平成28年度国保医療費の窓口負担免除を行いました。継続のためには、国の財政支援が欠かせません。そのために、国に財政支援の拡充を要望しており、県知事にもお願いしていきたいと考えています。継続については、現在検討しています。

答 被災者の健康保持と生活不安解消のために、平成28年度国保医療費の窓口負担免除を行いました。継続のためには、国の財政支援が欠かせません。そのために、国に財政支援の拡充を要望しており、県知事にもお願いしていきたいと考えています。継続については、現在検討しています。

答 被災者の健康保持と生活不安解消のために、平成28年度国保医療費の窓口負担免除を行いました。継続のためには、国の財政支援が欠かせません。そのために、国に財政支援の拡充を要望しており、県知事にもお願いしていきたいと考えています。継続については、現在検討しています。

一問 被災者医療費・介護費用の窓口負担金免除を来年度も引き続き継続してください。後期高齢者医療費窓口負担免除の復活のために後期高齢者広域連合に働きかけること。また、国・県に対して免除措置の継続・復活のために財政支援を行うよう強く要請してください。



答 災害公営住宅には、高齢者世帯、低所得世帯が多く、水道料金の滞納は増加傾向にあります。被災者の生活は大変になっていくと理解しています。水道事業管理者と相談し、考えていきたいと思いません。

答 災害公営住宅には、高齢者世帯、低所得世帯が多く、水道料金の滞納は増加傾向にあります。被災者の生活は大変になっていくと理解しています。水道事業管理者と相談し、考えていきたいと思いません。

の上・下水道料金の軽減策を講じてください。



日本共産党 藤原 益栄

1 大気汚染対策について
2 図書館の運営について

一問 三井住友銀行から融資を受け、現在、関西電力・伊藤忠商事が仙台港南に建設中の石炭火力発電所・仙台パワーステーションは、二酸化炭素を液化天然ガスの倍も排出し、脱硫率も低く、大気汚染が懸念されます。市としても、①さらなる脱硫装置設置を求める②観測体制を強化する③住民への説明を求めるなどの対策をとってください。

答 ①セキュリティゲートに入場者カウンターの機能が備わっており、設置費用は全額市が負担しています。②そのようにいたします。③利用者の皆さんの声に耳を傾けながら、多くの方々にとって利用しやすい図書館づくりに取り組んでまいります。

二問 ①入場者カウンターについて②ツタヤ分類をプリントし公表してください。③3階に郷土資料、辞書類を集中し、調査研究もできる図書館にしてください。



建設中の仙台パワーステーション



日本共産党 戸津川晴美

1 原発問題について
2 通学路の安全確保について

一問 (1)原子力災害発生時における石巻市民の受入体制について①協定等は進んでいますか。②受入れをお断りすることはありますか。③放射性物質の付着状況を調べる体制や場所は確定していますか。(2)本市で原子力災害が発生した場合の対応について①その可能性をどのように認識していますか。②避難計画を作成する必要があるのではないですか。

一問 山王小学校西側の南宮新田2号線から1号線付近は、児童生徒の通学路であるにもかかわらず、街灯がなく大変危険です。早急な改善を求めます。
答 おぼんです懇談会においても要望が出され、状況については認識されています。防犯街路灯の設置が考えられますが、町内会等が設置し、維持管理することとなります(市から補助あり)。

答 (1)①本年8月18日に宮城県及び石巻市と受入人数などの協議を行いました。年度内に協定を締結する方向で検討を進める考えです。②本市に甚大な被害が発生している場合や複合災害の場合は、受入れはしません。③県で調整中です。(2)原子力災害発生の可能性については何とも申し上げることはできません。②原子力災害避難計画については、UPZ(概ね30km圏内の区域)から外れているため策定する考えはありませんが、国・県の動向を見守ります。



南宮新田1号線



自由民主党 米澤まき子

- 1 不登校の児童・生徒の居場所となる支援拠点
- 2 子ども医療費助成制度高校3年まで拡充強化

一問 不登校の児童・生徒を対象にした「学びの支援センター」が昨年5月、塩竈市に開設されました。適応指導教室「けやき教室」の狭あい化の改善を含め「子ども心の居場所に」という思いで開設されたことに必要性を感じます。多賀城市に不登校の児童・生徒の居場所となる支援拠点を開設してはいかがでしょうか。

答 不登校児童生徒の心の居場所として、多賀城市内に通級できる施設「(仮称)子どもの心のケアハウス」を来年度に開設できるように、現在準備を進めているところです。

二問 慎重な態度をとってきた宮城県は、平成29年度から通院に係る助成対象年齢を3歳未満から就学前まで引き上げることにになり、まさに入院及び通院ともに高校3年生までに拡充強化のタイミングと確信しております。いかがでしょうか。



答 子ども医療費助成事業については、平成28年10月に通院分の対象年齢を小学3年生から小学6年生までに拡充させていただきましたが、宮城県による乳幼児医療費補助金の対象年齢引き上げを契機として、平成29年10月から、入院及び通院ともに高校3年生まで引き上げるべく検討しているところです。



公明党 阿部 正幸

- 1 防災情報テレフォンサービスについて
- 2 本市ホームページ「緊急・災害情報」について

一問 防災行政無線の内容が「聞こえない」「何を言っているのかわからない」との声が寄せられています。防災情報テレフォンサービスは何回線でも対応していますか。回線を増やしてつながりやすくなるように対応してください。

答 防災情報テレフォンサービスは4回線で運用しています。来年度に地域防災計画の見直しを予定していますが、この中で市民意向調査などを行い、回線増設などの対応を具体的に検討していきたいと考えています。

二問 11月22日、午前5時59分に福島県沖を震源とする地震が発生し、福島県沿岸に津波警報、宮城県沿岸に津波注意報が発表されました。避難所開設の状況、小・中学校の情報、防災行政無線の内容等を速やかに本市ホームページ「緊急・災害情報」へ掲載するよう対応してください。

答 当日は、津波注意報が津波警報に切り替わったという異例の状況下での対応となりました。当時は、午前6時40分の災害警戒本部会議で避難所の開設を決定し、午前7時26分頃に全避難所の開設が完了したため、その後市ホームページとテレビのデータ放送に避難所開設のお知らせを掲載しました。今後、市としても、教訓として、素早い対応と迅速な情報提供に努めてまいります。

防災行政無線の
放送内容を確認
することができ
ます。
防災情報テレフォンサービス
022-309-0228



日本共産党 中田 定行

放射能汚染物質の全県一斉
焼却計画はやめるべきです

問 県は、原発事故による放射能汚染物質を全県で一般廃棄物と混焼し、焼却灰は既存の管理型処分場に処分すると提案しています。県は、焼却で飛散する放射性セシウムはフィルターで除去できると言いますが、学問的裏付けが乏しい方針を市民に押しつけることは許されません。被ばくリスクを強要し、風評被害を招く、減容化メ리트がない焼却方針は撤回すべきです。放射能汚染廃棄物の処理については、あらゆる段階での住民合意、焼却以外の対応と安全管理を行うべきだと考えますが、市長の考えを伺います。

答 去る11月3日の市長村長会議におきまして、県知事から、現在も県内において保管が続いている国の基準以下の放射性廃棄物の処理方針が示されました。県では、12月下旬に再度市長村長会議を開催し、県の処理方針案に対する意向を確認のうえ、年明け後から試験焼却を行っていききたいとのこと

でありましたが、この件に関しては、ごみ処理施設の所在地である利府町の意向を十分お聞きし、更には、県内各地で種々検討がなされているところでありますので、他自治体の検討状況なども十分注視しながら、宮城東部衛生処理組合構成の1市3町で協議してまいりたいと考えております。



宮城東部衛生処理組合 ごみ焼却施設



公明党 齋藤 裕子

1 防災減災対策について
2 小中学校入学支援について
3 市民の健康増進について

一問 ①子ども達の防災意識の向上のため、防災教育の充実に向けての考えを伺います。②学校における災害時の対応と登校や休校などの判断基準について伺います。③障害や難病を持つ方が、災害時や困った時に提示をして支援を受けやすくする「ヘルプカード」の導入についての考えを伺います。

一問 ①子ども達の防災意識の向上のため、防災教育の充実に向けての考えを伺います。②学校における災害時の対応と登校や休校などの判断基準について伺います。③障害や難病を持つ方が、災害時や困った時に提示をして支援を受けやすくする「ヘルプカード」の導入についての考えを伺います。

二問 宮城県からの、第三子以降の児童を持つ保護者を対象とした「小学校入学用品費等助成事業」を本市でも導入の考えはありますか。

三問 健康増進と検診の受診率向上につなげるために、各種健診や、健康講座、ボランティア活動などに参加するとポイントを付与する、マイレージ制度の導入をはいかがでしょうか。

答 ①自分の身は自分で守る、危険を回避する力と他者や社会に貢献できる心を育てるよう取り組みます。②子どもたちの安全を第一に考え、子どもたちの命を守るために迅速な対応をします。③宮城東部地域自立支援協議会で広域での取組を協議します。

答 先進自治体の事例を参考として、実効性や効果等について研究してまいります。

答 少子化対策、子育て支援策として有効であると捉えており、制度の活用に向けた検討を進めて



ヘルプカードの例



公明党 根本 朝榮

- 1 田子大橋の改修について
- 2 多賀城インターチェンジのアクセス道路について
- 3 南門復元について

一問 田子大橋は老朽化による錆の劣化が激しいため、橋全体が茶色に変色しています。早急な改修が必要と思いますが、いかがですか。

答 田子大橋については、仙台市と管理協定を締結しており、平成28年度までの5年間は仙台市が管理する期間となっています。

一問 「ごんみらい復興団地」など高橋方面からのアクセス道路として高橋1号線がありますが、一方通行のため、目の前にあるインターチェンジへ行くことができません。踏切の拡幅も含め、将来のまちづくりのために整備が必要と思いますが、今後の整備計画について伺います。

答 踏切拡幅については、線路のポイントや水路などの支障物件が多いため困難です。また、接続する既存道路との距離が短いため立体交差の線橋として整備することも困難な状況です。



橋全体が茶色に変色した田子大橋

三問 ①南門復元について、新聞報道によると市が復元に躊躇しているような記事が掲載されましたが、現在の市の方針を伺います。②南門復元のため「南門復元応援寄付金」の創設を。

答 南門復元については、現在、最新のデータをもとに実施設計を行っているところです。寄付金の創設については、総事業費が明らかに従ってから検討したいと考えております。

一問 平成28年11月24日、日本経済新聞により国内813市区における2015年度日経調査機関にて報道されました。その結果、経常収支比率、財政のゆとりのない全国ベスト10の中で、第1位は夕張市(北海道)、第3位は多賀城市でありました。市としての改善策についての見通しを伺います。

答 本市の経常収支比率は、平成27年度決算で101.6%という高さでした。震災復興特別交付税での財源補填分を考慮して再計算すると96.9%となりますが、依然として高い水準ですので、事業の見直しや収入確保策の探求・実現に注力してまいります。

二問 住民一人当たりの普通建設事業費が国内813市区中、全国第10位と高い調査結果が発表されました。市民一人当たりの建設事業費が約34万7千円。東庁舎建設計画、南門復元計画等々、財政崩壊か建物崩壊か選択の時でもありません。今後の取組みについて伺います。

ます。

答 住民一人当たりの普通建設事業費が多い理由には、東日本大震災からの復旧復興事業の実施と中心市街地形成事業が最終局面にきていることが挙げられます。今後については、現在、財政収支の見通しを推計しており、公共施設等総合管理計画の策定に向けて取り組んでまいります。



多賀城市役所東庁舎

- 1 経常収支比率の見通しについて
- 2 普通建設事業費について

民政クラブ 雨森 修一

あんなこと こんなこと議論の足跡

議会では、市長の提出案件が市民の生活へどのように寄与するのか、ひとつひとつ質疑を通して審議を深め、採決に臨みます。

第4回定例会では、補正予算特別委員会において、当局との間で主として次のような質疑が行われました。

◆補正予算特別委員会◆

私立保育所等への 給付費増額について

質 私立保育所や認定こども園、小規模保育所等への給付費が増額されましたが、要因は何ですか。

答 保育所等の運営に係る公定価格の改定（約1.9%増）があつたことと、当初より入所児童数が100人増えたためです。

質 これらの増額分は、保育士等の処遇改善に活用できるのですか。

答 国家公務員の人事院勧告に準ずる措置で、全額を保育士等への処遇改善にあてるよう、国からの通知があります。

質 県でも保育士不足解消策として、新たな賃付制度等ができるようですが。

答 詳細についてはまだ不明ですが、本市においても保育士不足は重要な課題と認識しておりますので、県の制度はできる限り活用していきたいと考えています。

ドクターヘリの ランデブーポイントについて

質 ランデブーポイントは、多賀城中学校（市指定）、多賀城高校（県指定）の2カ所で十分ですか。

答 消防事務組合で検討した結果、現在の2カ所で条件を満たしていると考えます。

質 山王小学校をランデブーポイントの設置場所に検討を考慮しては。

答 今後、これからの運用をみて、塩釜地区消防事務組合等と検討していきます。

質 ランデブーポイントの看板設置の場所は。

答 多賀城中学校に2カ所です。

質 看板の大きさ、材質は。

答 高さ90cm、幅150cmで、アルミ製です。

質 市民へのランデブーポイントの設置場所の周知は。

答 広報10月号に掲載しています。今後ホームページなどで周知に努めてまいります。

ドクターヘリ 離着陸場

り ちやく りく じょう

- ここはドクターヘリの臨時離着陸場(ランデブーポイント)に指定されています。
りん じ り ちやく りく じょう
- 離着陸の際は大変危険です。
り ちやく りく さい たいへん けん げん
- 安全確認には十分に気をつけてまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。
あんぜんかくにん じゅうしん き みなさま りかい



宮 城 県 多 賀 城 市

ランデブーポイント看板（イメージ図）

山王小学校の エレベーター改修について

質 山王小学校のエレベーターは、現在給食専用ですが、今回、荷物と人が乗れるエレベーターに更新するということですか。また、車イスも対応できますか。

答 そのとおりです。車イスにも対応できます。



山王小学校荷物専用エレベーター



山王小学校玄関前の階段

災害公営住宅への 入居資格の緩和について

質 本市では、現在、災害公営住宅の入居資格は、全壊で住宅を失った被災者に限られています。今後、入居辞退、あるいは退去によって空住居が出た場合、一般の公営住宅として災害公営住宅入居資格のない方も入居できるようにすべきではないですか。

答 災害公営住宅に空住居が出た場合は、追加募集を行っています。今後、国の指針で示されていますように、いずれは一般の公営住宅として被災者以外の方も入居可能に段階的に行っていくと思いますが、現段階では、

質 車椅子も対応できるのであれば、玄関等の段差の改善の考えはありますか。

答 必要な場所は、対応していくようになります。

質 まだ改修されていないエレベーターは何校ありますか。

答 多賀城八幡小・東豊中・高崎中の3校です。順次改修していく予定です。

追加募集を行っても空住居が埋まらない場合は、現在の入居資格のある方を県内に広げて募集していきたいと考えております。

質 一部損壊、あるいは半壊の被害を受け、住宅に住めない被災者が、災害公営住宅に入居できるよう、一般の公営住宅として先行的に募集することを考えるべきではないですか。

答 最終的には、災害公営住宅の一般化を進めていくことを考えています。災害公営住宅に入居資格のない被災者の方が優先的に入居できるよう検討していきます。

平成29年 第1回定例会

平成29年度の事業と予算を決める大切な議会です。ぜひ傍聴においでください。日程の詳細は、議会事務局におたずねください。

第1回定例会会期日程（予定）

期 日	内 容
2月13日(月)	本会議（施政方針）
2月15日(水)	本会議（条例ほか）
2月16日(木)	補正予算特別委員会
2月17日(金)	補正予算特別委員会、本会議（採決）
2月23日(木)	本会議（一般質問）
2月24日(金)	本会議（一般質問）
2月27日(月)	予算特別委員会
3月2日(木)	予算特別委員会
3月3日(金)	予算特別委員会
3月6日(月)	予算特別委員会
3月7日(火)	予算特別委員会
3月8日(水)	予算特別委員会
3月9日(木)	本会議（採決）

※上記以外は議案調査のため休会です



総務経済常任委員会



越前市



かほく市



七尾市

総務経済常任委員会

- 委員長 森 長一郎
- 副委員長 佐藤 恵子
- 委員 金野 次男
- 委員 根本 朝米
- 委員 竹谷 英昭
- 委員 板橋 恵一

総務経済常任委員会は、平成28年10月26日から10月28日までの期間、住んでいる都道府県民の幸福度の高さの上位を占めている北陸三県のうち、福井県、石川県に焦点を当て本市と共通の課題解消の先進地として視察調査を行いました。

福井県越前市は、市内を小学校区単位に分けて地区民の積極的な参加により、既存の組織の見直しを図りながら実践機能や事務機能、監査機能を備えた「自治振興会」を組織し、それぞれの地区が自ら策定した地域自治振興計画に基づき、潤いのある個性豊かな魅力あるまちづくりや住民自治を進める事業を行っていました。

石川県かほく市は、出版社が選ぶ、全国住みよさランキング2016で全国7位、働く世代が住みやすい都市ランキング全国4位と高評価であり、同市は「若年層が定住する魅力と活力があるまちづくり」を目指し、「児童福祉の充実」、「幹線道路ネットワークの整備」、「産業振興」等への取り組みのために、部局横断の部長推薦の中堅職員8名による「定住促進プロジェクトチーム」を編成し、市長へ提言をしています。また、平成27年10月に策定した「かほく市創生総合戦略推進計画」におけるシティプロモーション事業として市内在住の若い母親で構成する「ママ課プロジェクト」もスタートしており話題となっています。

石川県七尾市においては、少子化による人口の縮小傾向や、進学期・就職期の人口流出が激しい中、現在、子育て環境、住まい環境、医療・福祉環境の要因で2016年「住みよさランキング」において全国第33位となっていることや、各情報媒体を用いて都市生活者へ発信し、官民挙げて各種補助金、空き家バンク、町内会と連携し移住定住促進事業を推進していました。

これらの成果を今後の市政へ活かしてまいります。



文教厚生常任委員会



文教厚生常任委員会

委員長	米澤まき子
副委員長	阿部 正幸
委員	戸津川晴美
委員	鈴木新津男
委員	藤原 益栄
委員	吉田 瑞生

文教厚生常任委員会の視察が、福井市・富山市・金沢市へ10月11日から13日の行程で実施されました。

初日の福井県福井市は、全国学力テストでも上位を占める常連県でもあり、「学力向上」「体力向上」においては、常に縦（幼保小中の連携）横（学校から地域）のつながりを強めながら、個の育ちを支え合っていました。学力向上の陰には、家庭・地域において祖父母の存在が総合的に学力向上を支えているともいえます（全国の調査で核家族の割合42位・三世帯の割合2位）。「学力向上・体力向上のために何をしてきたのか」については、「特別のことはしていない」「当たり前前の継続」これが答えでした。

2日目の視察は、富山型デイサービス・角川介護予防センターかどかわでした。平成5年、富山赤十字病院を退職した3人の看護師が開所。赤ちゃんからお年寄りまで障がいのあるなしに関わらず受け入れたことから始まり、全

国からも注目を集めたのが富山型でした。キーワードは小規模・多機能・地域密着が特徴ですが、障害福祉サービス報酬の改善が課題となっています。角川介護予防センターは、日本発の温泉利用型介護予防施設で、温泉を活用しながら無理なく運動ができ、介護にならない健康づくりを目指しています。

3日目は、歴史文化基本構想と金沢市の歴史遺産の特性について学びました。維持・継承に必要な技術や材料の研究・伝承のための職人大学校が開設されており、卒業生が手掛けた建物も拝見することができました。意欲的な保存活用はこの地域の風土が情熱と忍耐強さを持ち合わせた人々を作り出した、そんな思いが伝わり充実した内容の視察でした。



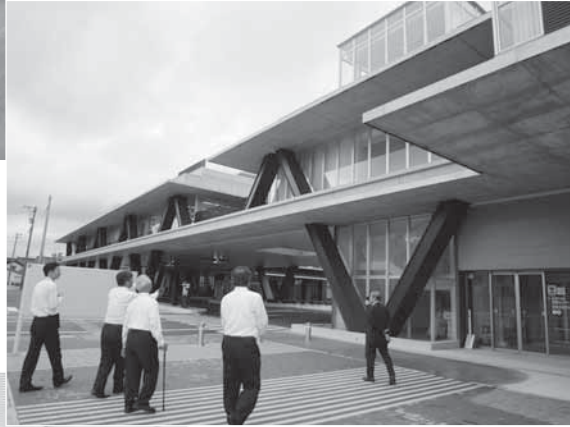
角川介護予防センターにて



建設水道常任委員会



体育館を改修した氷見市役所



黒部市役所庁舎



高岡市

建設水道常任委員会

委員長	伏谷 修一
副委員長	江口 正夫
委員	中田 定行
委員	齋藤 裕子
委員	雨森 修一
委員	昌浦 泰巳

建設水道常任委員会は、所管で課題となっている諸問題を洗い出し、東庁舎の耐震強化を図るための改修方法、多賀城の歴史建造物の保存・活用の考え方などの観点から、先進事例視察地として、富山県氷見市・高岡市・黒部市に決定し、平成28年10月4日から10月6日まで視察調査に伺いました。

氷見市では、県立高校の統合に伴って廃校となった高校の体育館を改修して再利用する整備方針の経緯に着目しました。財源は、東日本大震災を教訓とした緊急防災・減災事業債を活用し、建設事業費を19億3800円と低く抑えた点が特色となっています。

また、黒部市の庁舎建設事業は、昭和53年に庁舎建設基金条例を施行し、総額で21億円を積み立てました。平成18年、隣接町と合併したために活用できた合併特例債も財源に組み入れ、新築事業費47億4000万円となっていました。

本市の東庁舎は、一般質問の回答からも、改修工事が新築するかについて整備計画の素案の段階であり、財政面など課題山積していることを調査しなければならず、今回の視察において、氷見市の体育館を選択する経過について、特徴的な整備を実施していたことが参考となりました。

高岡市の歴史まちづくり計画は、高岡ストリート構想を掲げ、歴史に培われた文化・ものづくりの伝統を醸し出し、散策ができるゾーンに分けて誘客を導く整備を実施していました。このことから、東北随一の文化交流拠点と政庁までの歴史ゾーンを結び、回遊性を図ることが最優先の整備と考えました。

以上、今回の視察を研究し、多賀城に活かしてまいります。

今回の表紙

東豊中学校の取り組み

市議会だより第81号で、生徒会執行部が取り組むエコレンジャーの活動を紹介しました。2度目の登場です。東豊中学校の新たな取り組みと「エコレンジャー」の存在が、生徒の皆さんに与えた影響(!?)、いや、効果について取材しました。



●新たな取り組み「学習の階段」

「学習の階段」は、去年の11月から生徒会の発案でスタートしました。階段の蹴込板や踊り場に問題を張り付け、翌々日に解答を張り付けます。出題科目は国・社・数・理・英の5教科に、毎月11日は「防災関連の問題」と意欲的です。問題の出題は、初めに先生がお手本を示し、今では1・2年生の生徒会の執行部が手掛けています。

「学習の階段」は、まさに「意識づけ」と「ながら学習法」を取り入れた発想で感心しました。（そういえば、駅の階段の蹴込板にある社名とかが自然に頭に入っていますね。）

●エコレンジャーの効果

取り組みから9年、残食率が昨年から下がり始めているとのこと（平成28年11月データから）。関連かどうかはわかりませんが…うれしいですね。（校長先生談）

日常生活の中で詰め込むことではなく、無理せず毎日やるのが大切…と自然に身に付くことを教えられた気がします。

学校内の伝統を守りつつも、新たな改革に取り組む姿に可能性を感じずにはいられません。

生徒会執行部の皆さん、寒い中での撮影に御協力ありがとうございました。

（レポーター 米澤 まき子）

■表彰

【市制施行45周年市政功労者特別表彰】

（地方自治特別功労）

雨森 修一議員

竹谷 英昭議員

11月1日に開催された市政功労者表彰式典において、雨森修一議員及び竹谷英昭議員が地方自治特別功労の表彰を受けました。

この表彰は、市議会議員として多年にわたり市民福祉の向上と市勢発展に尽力された功績に対し贈られるものです。

【文化の日表彰（地方自治功労）】

昌浦 泰巳議員

11月8日に開催された宮城県文化の日表彰式典において、昌浦泰巳議員が地方自治功労の表彰を受けました。

この表彰は、多年にわたる議員活動を通じて、地方自治の確立と住民福祉の向上に尽力された功績に対し贈られるものです。

私もひとこと

議会を傍聴したみなさんからの感想や意見です。

最近の定例会では、数年前より「傍聴席の声」で提案していた一般質問に関するわかりやすい図説や資料の配付が定着しつつあることは、市民にも開かれた市議会運営への取り組みとして評価できる。

本定例会における地図と写真や前定例会における就学援助実施状況資料が議員側より傍聴席にも配付されている。最近では、議員自ら撮影・作成した資料の図書館周辺の信号や横断歩道などもわかりやすかった。

熊谷 敏晴さん（東田中在住）



広報特別委員会の一コマ

編集後記



平成28年は、多賀城駅周辺の再開発が完了し、市立図書館・子育てサポートセンターなどが開館しました。図書館の入る駅北ビルA棟には、12月末で120万人もの人々が訪れています。

また、さんみらい多賀城・復興団地も順調に企業の進出が進んでいます。創造的復興を目指す本市にとって、着実に歩みを進めた年だったと思います。

今回の議会だよりはいかがでしたでしょうか。

これからも、多くの皆様に親しんでいただけるよう委員一同編集に取り組んでまいります。

（鈴木 新津男）

●広報特別委員会

委員	長	昌	浦	泰	巳
副委員	長	戸	津	川	晴
委員		鈴	木		新
委員		江	口		正
委員		米	澤		ま
委員		齋	藤		裕
委員		齋	藤		子